



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3547回例会・2026年4月15日

本日のプログラム

会員卓話 「社会秩序の構造変化」

株式会社 福地工業 取締役会長 福地 博行 会員

UNITE
FOR
GOOD

R. I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3546回例会（4月8日）の記録

ロータリーソング 我等の生業

ゲスト 一般社団法人日本バリスタ協会 インストラクター／広報委員長 青木 信 様

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんにちは。この時期になりますと桜の話題がテレビを賑わせております。東京の方ではだいぶ散り始めているようですが、北見では桜の時期がもう少しでやって来て、ようやく北海道の春を感じられる季節になってきました。桜だけではなく、梅やこぶしなどの花も同時期に開花するそうです。田巻会員が詳しいと思いますので、後でお話を聞いてみてください。このように季節に触れますと、私達は自然の恵みを守ることを切実に考えなくてはならないと思います。先週の会長挨拶でもお話ししましたが、今は環境月間ということで、この豊かな自然を守り、次世代の人達に繋いでいくことが我々ロータリアンの役割でもあると考えます。身近なところから環境の配慮をしていただければ、北見RCとしても役割を果たせるのではないかと考えております。

本日は4月8日、お釈迦様誕生の日です。各地の寺院で花まつりが開催され、誕生仏を供えて甘茶をかけるという行事が行なわれているそうです。本日も皆さんと楽しい例会を作り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 高橋幹事

- 4月12日にCLLS旭川が開催されますので、登録された皆さんは気をつけて行って来て下さい。
- 4月18日に北見4RC麻雀大会が開催されます。登録された皆さんは気をつけて行って来て下さい。
- 4月20日に緑の募金街頭キャンペーンが開催されます。来ていただける方は10時30分に北見駅前広場にてお待ちしております。
- 4月25日にIM網走が開催されます。車の乗り合わせ等でご相談させていただきますので、よろしくお願いいたします。
- 5月9日にレディーゴー！in釧路が開催されます。女性会員にご案内しておりますが、男性でも参加できますのでご参加をお願いいたします。
- 5月20日の花見夜間例会と5月23日の北見4RCパークゴルフ大会のご案内を、本日レターボックスに配布しましたのでご確認ください。

委員会報告

田尾SAA

ゴルフをされる方のレターボックスにご案内を入れております。合わせて、4RC親睦ゴルフ大会のご案内も配布しておりますので、参加される方は私までご一報ください。

ニコニコBOX

佐々木(朋)会員～本日、娘の小学校の入学式でした。大きいランドセルを背負った娘を見ていたら、もっと頑張らないといけなと自分に気合いが入りました。

高橋幹事～5月17日、温根湯温泉むらさきつつじロードレースが開催されます。エントリー募集しておりますので、よろしくお願いいたします。

プログラム ゲスト卓話 「日本バリスタ協会インストラクターが語るエスプレッソの歴史」

一般社団法人日本バリスタ協会 インストラクター／広報委員長 青木 信 様



皆さん、こんにちは。本日は貴重な機会をいただきまして、ありがとうございます。私は日本バリスタ協会のインストラクターと広報委員長を務めております青木 信と申します。今日は皆さんが毎日飲んでいるかもしれないコーヒーのお話、その中でも特にエスプレッソコーヒーにまつわる120年の歴史についてお話ししたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

エスプレッソコーヒーとは高圧でコーヒーのエキスを凝縮した、わずか20～30mlの液体です。日本では濃い・苦い・値段の割に量が少ないなど、ネガティブなイメージがついているコーヒーではありますが、イタリアでは注文の約60%がエスプレッソです。食後に飲んだり、砂糖を入れてチョコレートのように楽しんだり、タバコのように息抜きするような飲み方でイタリア人の食文化に根付いたコーヒーです。

エスプレッソという言葉は複数の意味がありますが、語源は「急行列車のように速い」という意味の英語のエクスプレスから来ております。他には「あなたのために」「特別に」という意味もあり、あなたのために急速で出てくるコーヒーということで、エスプレッソと名付けられました。1906年のミラノ万博で初めてカフェエスプレッソと名付けて提供された、約120年の歴史があるコーヒーです。当時の機械は蒸気を吹かせながらコーヒーを抽出し、圧力もそこまで高くはないので、今よりもっと濃くて苦くて熱い一杯でした。しかし、機械からあつという間に出てくるコーヒーということで、当時の方々にとっては魔法のようなコーヒーに映っていたようです。私も2010年に初めてイタリアに行った際、バリスタがマシンを使ってエスプレッソやカプチーノを作ったりしているのを見て衝撃を受け、この業界に入り今でもバリスタという仕事をしています。近隣のオランダやフランスなどは当時植民地を持っていたので、コーヒー豆を豊富に持っており、コーヒーを飲む習慣が定着していました。イタリアは植民地が無く、戦時下の物資不足の中でコーヒー豆の流通も少なくなりましたが、コーヒーを飲みたい欲求はあるので、少ない豆から最大限の旨味を引き出す技術を生み出したのがエスプレッソの始まりです。エスプレッソは制約から生まれたイノベーションなのです。イタリアでは長い時間をかけて今に至るエスプレッソの文化が、どんどん発展して成熟していきました。1983年、スターバックスの元CEOであるハワード・シュルツさんは初めてイタリアを訪れた際、パルと呼ばれるイタリアのカフェに人々が集い、エスプレッソを飲みながら立って語り合うコミュニティを見て衝撃を受けました。これをアメリカに持ち帰り、独自の解釈で座って長居できる空間を作り、サードプレイス、つまり第三の居場所という概念で、今となっては世界3万5千店舗もあるスターバックスをオープンさせました。文化の移植と再構築が非常に見事に、コーヒー業界のセカンドウェーブと言われ世界に大きな流れを生み出しました。日本でも喫茶店文化というものがあり、職人の丁寧な抽出や空間を満たすおもてなしの精神で、一杯に時間をかけるスローコーヒーの哲学が根付いております。イタリアのバリスタ精神と日本の職人精神が、根底で深く通じ合っていたとも言われています。1990年代までエスプレッソは日本ではほとんど未知の存在でした。戦後、イタリアとの接点がなく情報がほとんど無かったというのが理由です。転機は1996年、今も現役のバリスタで、日本人初のイタリア公認バリスタである横山千尋さんがイタリアでの修行を終えて帰って来た年です。同じ年にはスターバックスも日本に初出店しており、ここからエスプレッソという言葉が日本で急速に広まっていきます。スターバックスが広まった背景としては、1980年にドトールコーヒーショップの1号店がオープンしていたので、セルフスタイルやテイクアウトの文化が既に発展しており、スターバックスも一気に支持されたという要因があると言われています。しかし、エスプレッソについては正しい知識や技術がまだまだ浸透していません。2003年に私が所属する日本バリスタ協会と、日本スペシャルティコーヒー協会が設立されました。

2000年代以降、コーヒー業界はサードウェーブと呼ばれる革命が起きます。単一農園の豆を浅煎りから中煎り位で豆本来の個性を引き出すスタイルが楽しめるようになり、ワインやチョコレートのように風味を深く楽しむ農作物として捉え直す哲学が誕生しました。サードウェーブの台頭として、2002年にアメリカ・カリフォルニア州オークランドで、ブルーボトルコーヒーというお店が誕生しました。創業者のジェームス・フリーマンは日本のコーヒー文化に影響を受けており、接客にはおもてなしの表現、デザインにはミニマリズムといった引き算の美学、コーヒーには日本の職人が抽出するような細部へのこだわりを取り入れました。現在コーヒー業界で起きているホットな話題として、2017年に世界最大の食品企業であるネスレがブルーボトルコーヒーの株式の約68%を約4億2,500万ドルで取得し、高感度なスペシャルティコーヒー層を取り込むための戦略投資を行いました。今年3月にブルーボトルの店舗事業を4億ドル以下で手離すというニュースが流れました。買収したのは中国最大のコーヒーチェーンであるラッキンコーヒーという会社です。認知度はまだ少なめですが、世界で3万店舗以上出店しています。親会社は中国の投資ファンドであるセンチュリウム・キャピタルという会社です。ラッキンコーヒーは2020年に不正会計問題でアメリカのナスダック市場を上場廃止になりましたが、そこからセンチュリウム・キャピタルが経営再建を担ったとされ、スターバックスの世界店舗数と肩を並べるくらいの勢いで成長しています。ラッキンコーヒーの戦略は低価格とデジタル化で、中国国内では1杯200~300円という価格で展開しています。そこに、ブルーボトルという高品質・プレミアムという価値と象徴的ブランドを加えることで、低価格帯から高価格帯まで1社で網羅するような構造を作ろうとしているようです。これは、コーヒー業界の次の大きなうねりの始まりかもしれないので、今回お話しさせていただきました。ネスレという会社は、缶コーヒーやペットボトルコーヒーといった製造の部分で得意としている会社で、スターバックスとも2018年にグローバルアライアンスを結び、スーパーで売っているスターバックスの缶コーヒーは全てネスレで製造しております。しかし、店舗展開に関しては得意ではなかったため、それを手放してラッキンコーヒーが買収するという流れはビジネス的には筋の通った判断と言われている。

エスプレッソは世界の共通言語と言っても過言ではないくらい浸透しました。スターバックス、ブルーボトル、ラッキンコーヒー。スタイルも価格帯も全く異なるお店が全てエスプレッソに核を置いたドリンクを作っております。技術面も世界標準が定着し、バリスタのトレーニングもほぼ共通のカリキュラムで行われています。忘れてはならないのは、コーヒーの文化は一方通行ではないことです。イタリアで生まれて、アメリカで変革し、日本の職人精神が影響を与え、今度は中国へという循環が続いております。次にエスプレッソやカフェラテ、カプチーノを飲む時がありましたらそのようなことを思い出していただき、今後もコーヒーをより楽しんでいただきたいと思います。本日はありがとうございました。

会員の輪

今年度2回目の情報集会が始まります。北見ロータリークラブでの飲む機会はよくありますが、情報集会は貴重な機会だといつも思います。ぜひ親睦を深めながら新たな情報や発見、ロータリー話など楽しくお過ごしください。話は変わりますが3月26日、網走に行ったら流水が接岸!! 地元の方に聞くと3月末にはもう流水はないとのこと。思わず流水に乗ってしまいました。(田巻 順子)



番外編

4月6日(月)に、北見工業大学食堂において親睦活動委員会メンバーと会長による、お昼休みの情報委員会(カツカレー部会)が開催されました。前回の移動例会で達成できなかったカツカレーを困んで、今後の例会食のあり方や、新入大学生の初々しさから活力を充電して閉会しました。追伸：学長には見つかりませんが、テリゲルさんには見つかりました(恥)。



出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	4/1	58	5	39	3	5	-	44	78.571%

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	4/8	58	5	29	2	3	-	32	58.182%

【次回4月22日】 ゲスト卓話 「人生会議について ― もっと気軽に ―」

日本赤十字北海道看護大学 講師 彌富 祐樹 様

2025~2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

―ロータリー文庫とは―

日本ロータリー50周年を記念事業の一つとして1970年に設立された資料館。クラブ名と氏名をサインするだけで閲覧できます。